

第 92 回天皇杯・第 84 回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 1 次ラウンド

兼 平成 29 年度新潟県バスケットボール選手権大会 実施要項

- | | | |
|----|-------------------|--|
| 1 | 主 催 | (公財) 日本バスケットボール協会 (一財) 新潟県バスケットボール協会 |
| 2 | 共 催 | 共同通信社 |
| 3 | 主 管 | (一財) 新潟県バスケットボール協会 三条市バスケットボール協会 |
| 4 | 協 賛 | 株式会社 モルテン (予定) |
| 5 | 期 日 | 平成 29 年 7 月 15 日 (土)・16 日 (日)・17 日 (月・祝) |
| 6 | 会 場 | 三条市栄体育館 他 |
| 7 | 競技方法 | トーナメント方式とし、3 位決定戦は行わない。 |
| 8 | 競技規則 | 現行の日本バスケットボール協会競技規則による |
| 9 | 参加資格
レギュレーション等 | ① (公財) 日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
② (公財) 日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること。
③ 大会を通じて、ベンチで指揮するものは、JBA 公認コーチであること。
またその資格は、JBA 公認 D 級コーチ以上とする。
④ 帰化選手 (満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。) の登録は 1 名以内とする。
⑤ 外国籍選手 (基本規程による) 及び帰化選手の出場は下記の通りとする。
<u>男子</u> : 第 1・第 3 ペリオドはオンザコート 1、第 2・第 4 ペリオドはオンザコート 2 (6 枠固定) のルールを採用し、オンザコート 2 の場合は帰化選手は 2 名に含まれる (オンザコート 1 の場合は帰化選手は含まれない) 尚、延長時間については外国籍選手と帰化選手を合わせて 2 名以内とする。また試合にエントリーできる外国籍選手および帰化選手は合計 3 名以内とし、その内帰化選手は 1 名以内とする。
<u>女子</u> : オンザコート 1 とし帰化選手は含まれない。尚、試合にエントリーできる外国籍選手および帰化選手は合計 2 名以内とし、その内帰化選手は 1 名以内とする。
⑥ 試合エントリー数は、スタッフ 9 名以内、選手 16 名以内の計 25 名以内とすること。
⑦ 高校は新潟県高校総体上位 8 チーム以内とする。 |
| 10 | 参 加 料 | 13,000 円 振り込みとする。
参加チームは平成 29 年 6 月 16 日までに参加料を下記、振り込み口座へ納入する。振り込み依頼人はチーム名として、振り込み手数料は貴チームにてご負担ください。大会参加料領収書については振り込み時の領収書を持ってかえさせていただきます。組合せ抽選後の棄権については、大会参加料の返金はいたしません。 |

金融機関：北越銀行 関屋支店

普通 口座番号：2036153

名義：一般財団法人 新潟県バスケットボール協会 会長 上村征夫

11 申込方法 新潟県バスケットボール協会ホームページより大会参加申込みをダウンロードして、メールにて大会参加申込みをおこなうものとする。

【ホームページ】 <http://niigata.japanbasketball.jp/index.html> (新潟県バスケットボール協会)

【申し込み・選手変更】 Eメールアドレス nbba.kyoudgi@gmail.com

【担当】新潟県バスケットボール協会 競技委員会

〒950-1222

新潟市南区白根東町1-2-44

(株)オオツカスポーツ 久保 健

携帯 090-2761-3326

12 申込締切 平成29年 6月16日(金) 必着

13 組合せ 新潟県バスケットボール協会の責任抽選とし、男子の部は第62回新潟日報杯争奪バスケットボール大会の成績を基に、ベスト8のチームを特別シードとする。

14 エントリー変更 (1) エントリー変更については、所定の用紙を用いて、6月30日(金)迄に申込先へメールにて届け出ること。

(2) ケガ、病気等の理由で参加不可能となった場合には、6月30日(金)以降でも変更を認める。その場合も所定の用紙を用いてFAXで届けること。

(3) 大会当日の変更については、本部へ変更届けを提出してください。

15 表彰 1位～3位までのチームに新潟県バスケットボール協会より賞状を授与する。

16 その他 (1) 男女共、優勝チームを9月に富山県で行われる2次ラウンドに新潟県代表チームとして推薦する。

(2) 男子ベスト8、女子ベスト4のチームを来年度5月開催の新潟日報杯特別シードとする。※ベスト8を決める試合から出場。(男子の部)

(3) 宿泊は斡旋しない。

(4) 大会における事故発生については、大会本部では一切責任を負わない。
※個人で傷害保険に加入していることが望ましい。

(5) 大会申込書には必ず、帯同審判員(日本公認E級以上)を記入すること。

(6) すべてのゴミを各チームで責任をもって持ち帰る。

(7) 組合せ決定後に棄権したチームは次回の大会参加を認めないこともある。